



山形一中だより 第96号

令和4年4月14日

発行 山形市立第一中学校

4月8日(金)に令和4年度の入学式が、十分なコロナウイルス感染対策のもと挙行され、希望に満ちあふれる新入生151名が山形一中の新たな仲間となりました。今回は、その式で行われた「校長式辞」をご紹介します。



入学式 校長式辞

山形市立第一中学校

校長 田中 克

桜のつぼみが大きく膨らみ、馬見ヶ崎川沿いの桜のトンネルが見られるのももうすぐです。穏やかな春の日差しが差し込むこのよき日、山形市立第一中学校新入生151名の皆さん、入学おめでとう。我々教職員一同、そして今教室からリモートで見ている在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。真新しい制服に身を包み、中学生としての自覚と希望が満ち溢れていることでしょう。

入学にあたって、私から皆さんに二つのお願いがあります。

一つ目は、「心の強さ」を持ち続けて欲しいということです。中学時代は、体も心も大きく成長する時期です。皆さんはどんな中学生になりたいですか。中学校は、なりたい自分を頭に描き、それに向かって努力すると、一步一步、それに近づくことができる、そういう時期です。なりたい自分がすぐ思い浮かばなければ、仲間や先輩から目標とする人を見つけても良いと思います。

なりたい自分が決まったら、粘り強く辛抱強く、時にくじけそうになっても打たれ強く一步一步前進し続けることです。「限りなき前進めざせー中生」これが山形一中のスローガンです。

二つ目はかけがえのない仲間を大切にしてほしいということです。一中では、「一中讃歌」という詩を生徒たちが創っています。私もそれをもじって、「校長讃歌」を創ってみました。仲間の大切さを詩で表現させていただきます。タイトルは「奇跡を運命に」です。

奇跡を運命に

世界には70億80億という人がいるというのに
人類の歴史は数百万年とも言われているのに
同じ時代に生まれ同じ学校で生活するという奇跡
その奇跡が、やがて運命と感じられる日がきっと来る
共に喜び 共に悩み 共に感動で涙する
そんな友達つくろうや
そんな学年つくろうや
そんな一中つくろうや



奇跡といえば、もう一つ。皆さんが入学したことで、全校生は444名となりました。「3つの4」で「みんな幸せ」となることを祈ります。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます

ます。コロナ禍の中、無事入学式を挙行できましたことを嬉しく思います。本校では、「ふるさとに誇りをもち学び続ける人間の育成」を学校教育目標に掲げ、日々の教育活動に邁進しております。教職員一同、お子様の教育に力を尽くしてまいります。何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさついたします。

※ 新入生代表の言葉は、1学年だより「はやぶさ」をホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。